



2017年2月期 第2四半期 **決算説明会資料**

① ビジネスモデル / ミッション

② 第2四半期 ハイライト

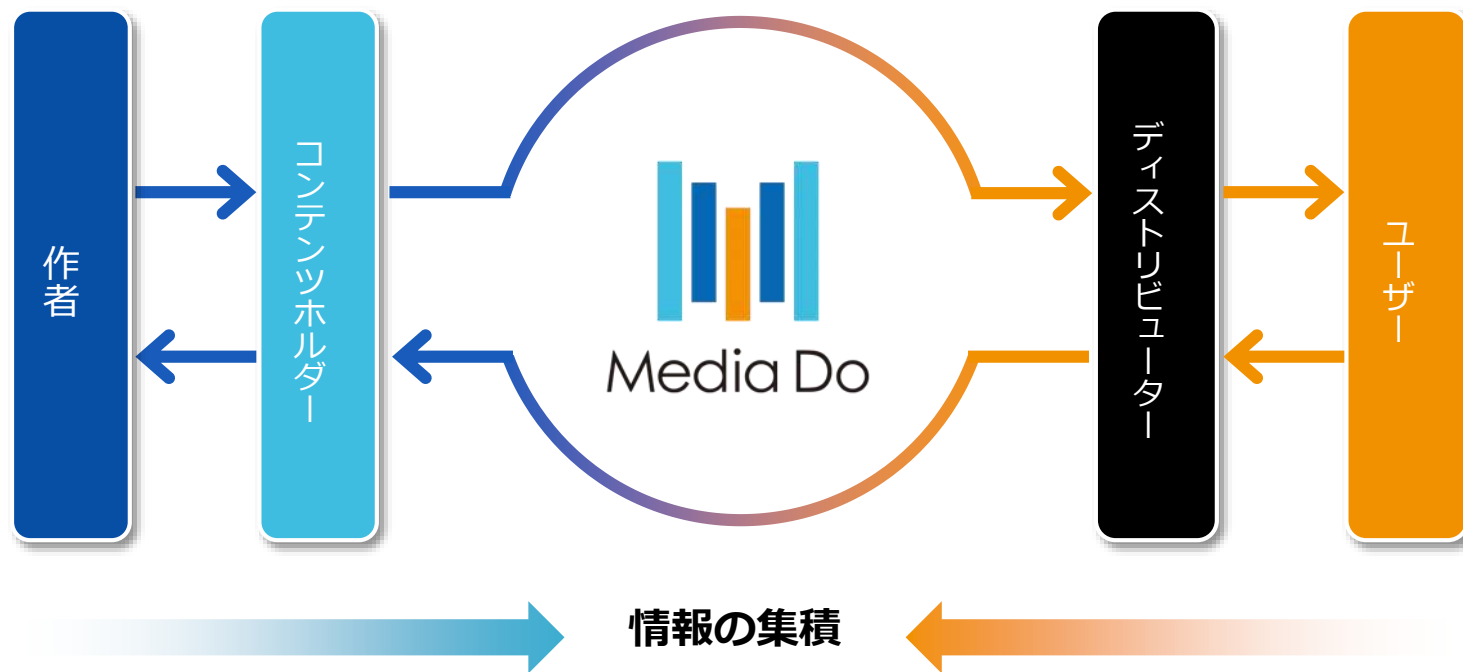
③ 第2四半期 レビュー

④ 電子書籍事業の進捗状況

⑤ 今後の成長戦略

当社の事業モデルは、システムを活用した「著作物のデジタル流通事業」です。電子書籍を中心として、音楽、映像、ゲーム等の配信事業を推進。

著作物のデジタル流通事業



ひとつでも多くのコンテンツを、 ひとりでも多くの人に届けること。

私たちメディアドゥは、著作物を公正利用のもと、私たちの力で出来る限り広く頒布し著作者に収益を還元するという

“著作物の健全なる創造サイクルの実現”

を事業理念と掲げ、この日本における文化の発展、及び豊かな社会づくりに貢献したいと考えています。



著作権法 第一章 総則 第一節 通則 第一条 この法律は、著作物並びに実演、レコード、放送及び有線放送に関し著作者の権利及びこれに隣接する権利を定め、これらの文化的所産の公正な利用に留意しつつ、著作者等の権利の保護を図り、もつて文化の発展に寄与することを目的とする。

① ビジネスモデル / ミッション

② 第2四半期 ハイライト

③ 第2四半期 レビュー

④ 電子書籍事業の進捗状況

⑤ 今後の成長戦略

第2四半期のハイライト

前年度に引き続き電子書籍事業が順調に拡大。前年同期比で増収増益。

第2四半期

2016年6月～2016年8月

売上高 : **3,790百万円** (前年同期比 134.4%)

→ **電子書籍売上** : **3,456百万円** (前年同期比 128.7% 売上構成比 91.2%)

営業利益 : **111百万円** (前年同期比 72.9%)

第2四半期累計

2016年3月～2016年8月

売上高 : **7,200百万円** (前年同期比 133.8%)

→ **電子書籍売上** : **6,662百万円** (前年同期比 131.6% 売上構成比 92.5%)

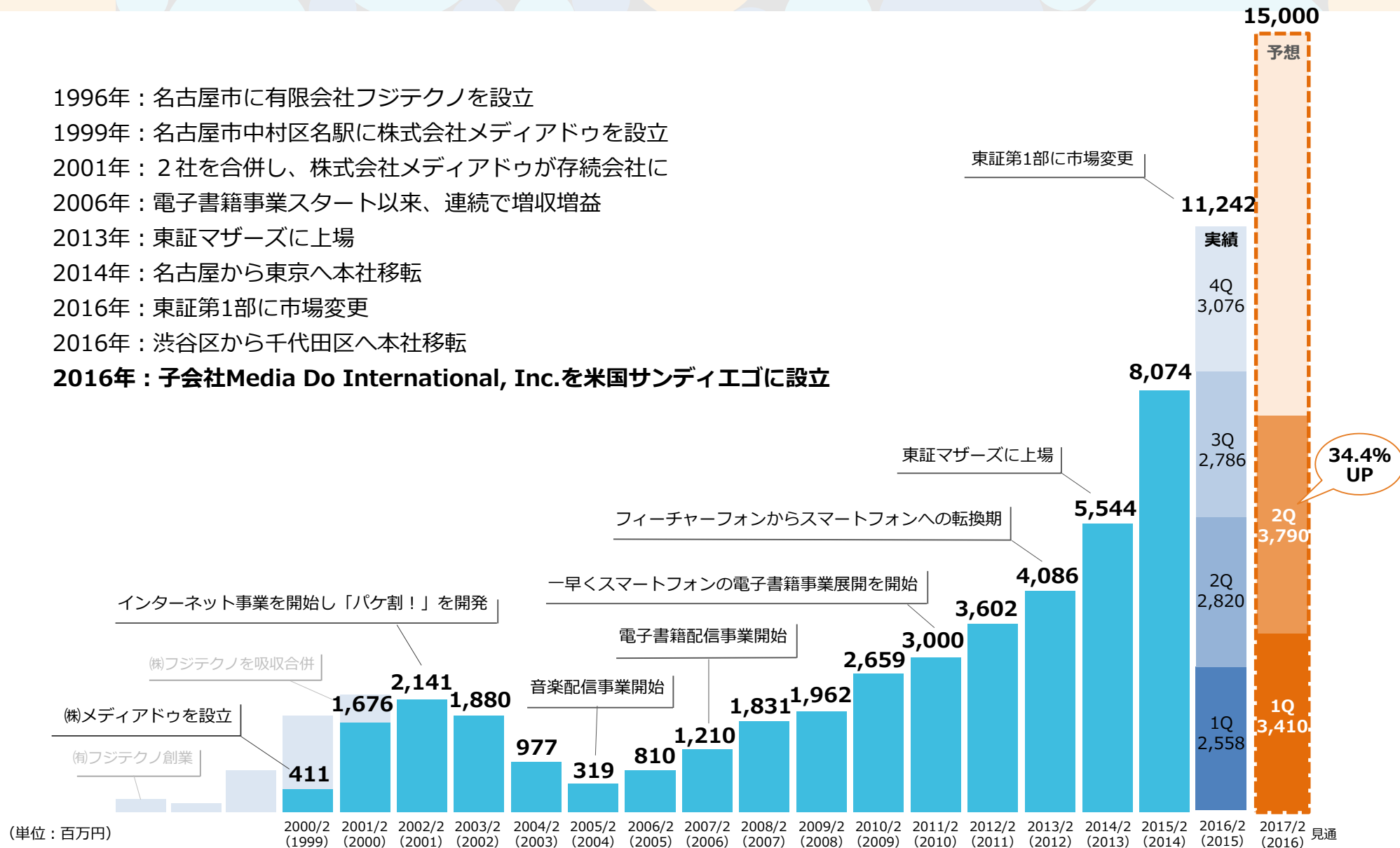
営業利益 : **304百万円** (前年同期比 110.6%)

トピックス

- ✓ 国立大学としては初めて福井大学にOverDriveの電子図書館システムを提供開始
- ✓ タテヨコ自在読み機能「ユニバーサルフリック」を搭載したビューアアプリ「MD Viewer」に関する日本特許等の取得及び海外出願
- ✓ OverDriveとともに国内で展開する電子図書館事業「OverDrive Japan」の専用ウェブサイトを開設
- ✓ 「楽天マンガ」へ電子書籍コンテンツと電子書籍配信ソリューションの提供を開始
- ✓ 「判例タイムズ」の判例・論文データ配信サービス「リーガルアーカイブス」へ配信ソリューションを提供
- ✓ 電子書籍配信プラットフォーム（CAS）がモバイル決済サービス「LINE Pay」との連携を開始
- ✓ コンテンツ東京2016「第4回 制作・配信ソリューション展」出展
- ✓ 本社を渋谷区（初台）から千代田区（竹橋）に移転
- ✓ 米国サンディエゴに子会社「Media Do International,Inc.」設立
- ✓ 子どもSNSとして世界で急成長するCreatubbles社との資本業務提携

売上高の推移

- 1996年：名古屋市に有限会社フジテクノを設立
- 1999年：名古屋市中村区名駅に株式会社メディアドゥを設立
- 2001年：2社を合併し、株式会社メディアドゥが存続会社に
- 2006年：電子書籍事業スタート以来、連続で増収増益
- 2013年：東証マザーズに上場
- 2014年：名古屋から東京へ本社移転
- 2016年：東証第1部に市場変更
- 2016年：渋谷区から千代田区へ本社移転
- 2016年：子会社Media Do International, Inc.を米国サンディエゴに設立**



2017年2月期 進捗状況

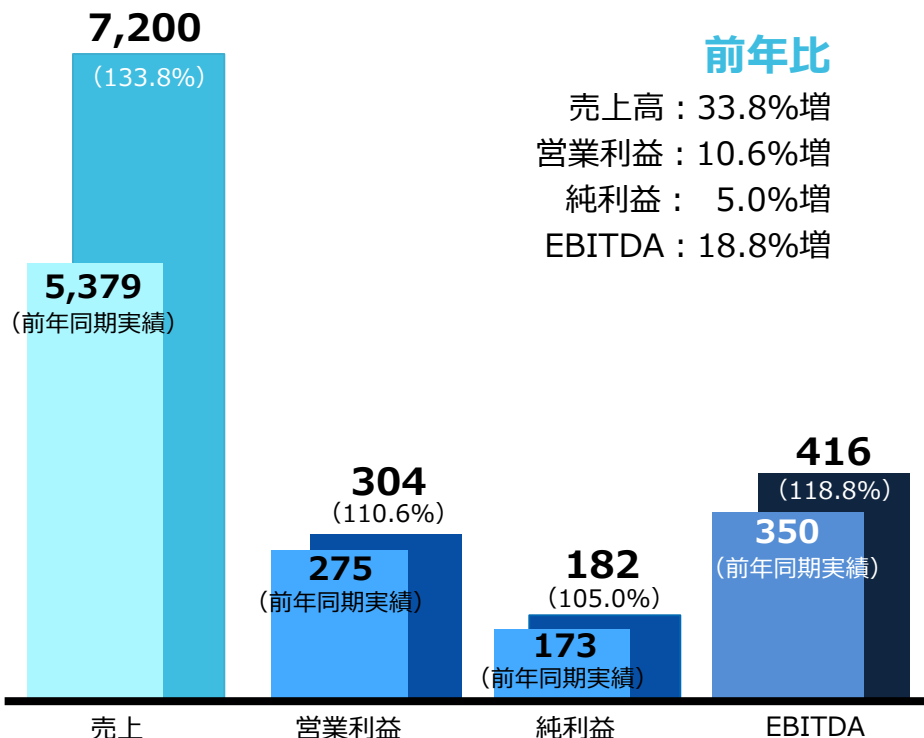
2017年2月期 2Qは前年同期比で増収増益。業績予想に対する利益の進捗率は前年同期より若干下回った。

前年同四半期比較

(単位：百万円)

前年比

売上高：33.8%増
 営業利益：10.6%増
 純利益：5.0%増
 EBITDA：18.8%増

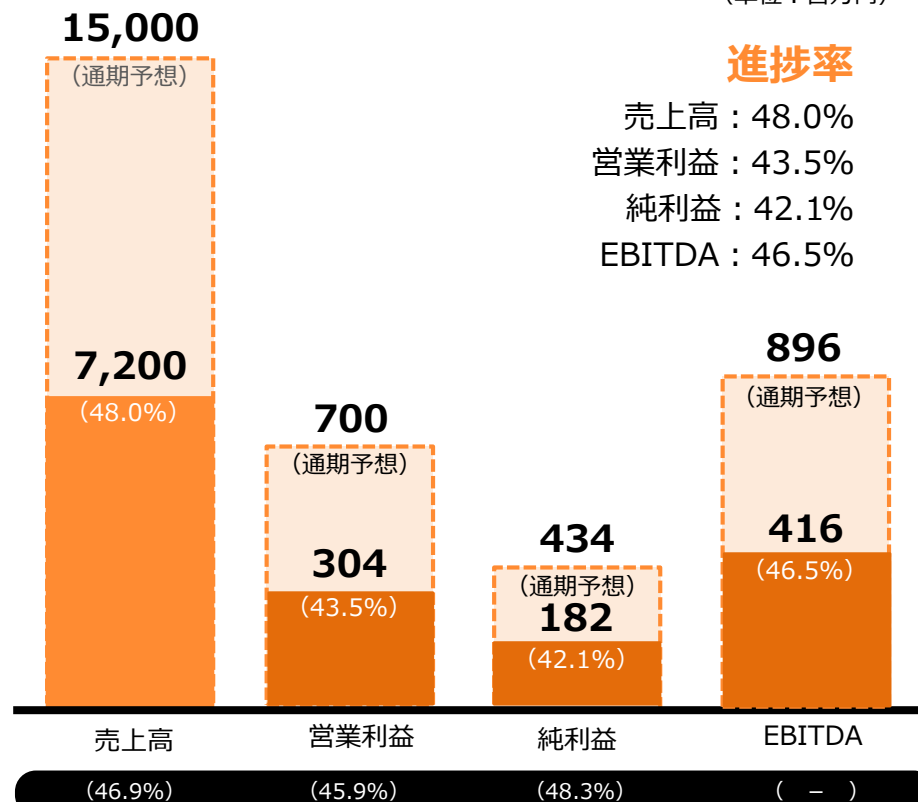


通期業績予想比較

(単位：百万円)

進捗率

売上高：48.0%
 営業利益：43.5%
 純利益：42.1%
 EBITDA：46.5%



前年2Qでの進捗率実績



① ビジネスモデル / ミッション

② 第2四半期 ハイライト

③ 第2四半期 レビュー

④ 電子書籍事業の進捗状況

⑤ 今後の成長戦略

第2四半期 実績 (P/L)

| (単位：百万円) | 2016年2月期 (第2四半期累計) | | 2017年2月期 (第2四半期累計) | | | 2017年2月期 (通期) | |
|----------------|-----------------------|---------------|-----------------------|---------------|---------------|------------------|--------------|
| | 実績 | 構成比 (売上対比) | 実績 | 構成比 (売上対比) | 前年同期比 | 通期予想 | 進捗率 |
| 売上高 | 5,379 | 100.0% | 7,200 | 100.0% | 133.8% | 15,000 | 48.0% |
| 電子書籍事業 | 5,062 | 94.1% | 6,662 | 92.5% | 131.6% | — | — |
| 音楽・映像事業 | 204 | 3.8% | 161 | 2.2% | 78.7% | — | — |
| ゲーム事業 | 29 | 0.6% | 15 | 0.2% | 52.8% | — | — |
| その他 | 82 | 1.5% | 361 | 5.0% | 440.3% | — | — |
| 営業利益 | 275 | 5.1% | 304 | 4.2% | 110.6% | 700 | 43.5% |
| 経常利益 | 275 | 5.1% | 305 | 4.2% | 110.7% | 700 | 43.6% |
| 当期純利益 | 173 | 3.2% | 182 | 2.5% | 105.0% | 434 | 42.0% |
| EBITDA※ | 350 | 6.5% | 416 | 5.8% | 118.8% | 896 | 46.5% |

※ EBITDA:営業利益+減価償却費

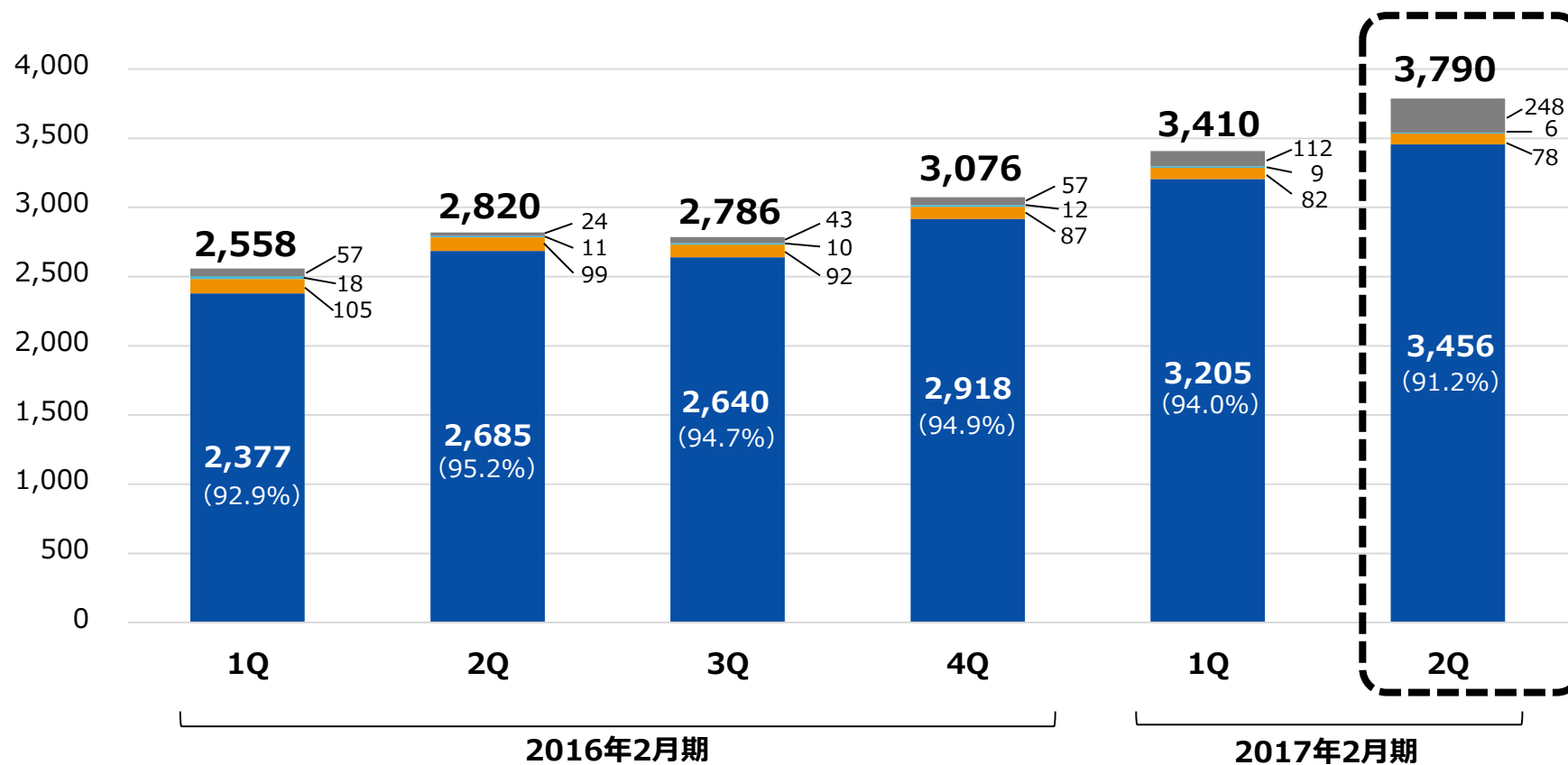
第2四半期 実績 (B/S)

| (単位：百万円) | 2016年2月期 (第2四半期) | 2017年2月期 (第2四半期) | 前年同期比 (金額ベース) | 主たる変動要因、他 |
|-----------------|---------------------|---------------------|------------------|-----------------------|
| 流動資産 | 4,561 | 4,311 | ▲249 | |
| 現金及び預金 | 2,209 | 1,192 | ▲1,016 | 投資有価証券の取得 |
| 売掛金 | 2,304 | 2,987 | 683 | 売上増に連動 |
| 固定資産 | 466 | 2,700 | 2,233 | |
| ソフトウェア | 120 | 203 | 82 | 社内制作ソフトウェアの増加 |
| 投資有価証券 | 62 | 1,563 | 1,500 | 資本業務提携による株式取得 |
| 子会社株式 | | 125 | 125 | 米国子会社設立による |
| 資産合計 | 5,027 | 7,011 | 1,983 | |
| 流動負債 | 2,964 | 4,570 | 1,606 | |
| 買掛金 | 2,678 | 3,621 | 943 | 売上増に連動 |
| 短期借入金 | | 600 | 600 | 投資有価証券取得のための当座借越 |
| 固定負債合計 | 9 | 36 | 27 | 資産除去債務の増加 |
| 負債合計 | 2,973 | 4,607 | 1,633 | |
| 純資産の合計 | 2,054 | 2,404 | 349 | 利益剰余金の増加、ストックオプション行使等 |
| 負債・純資産合計 | 5,027 | 7,011 | 1,983 | |

事業別 四半期売上推移

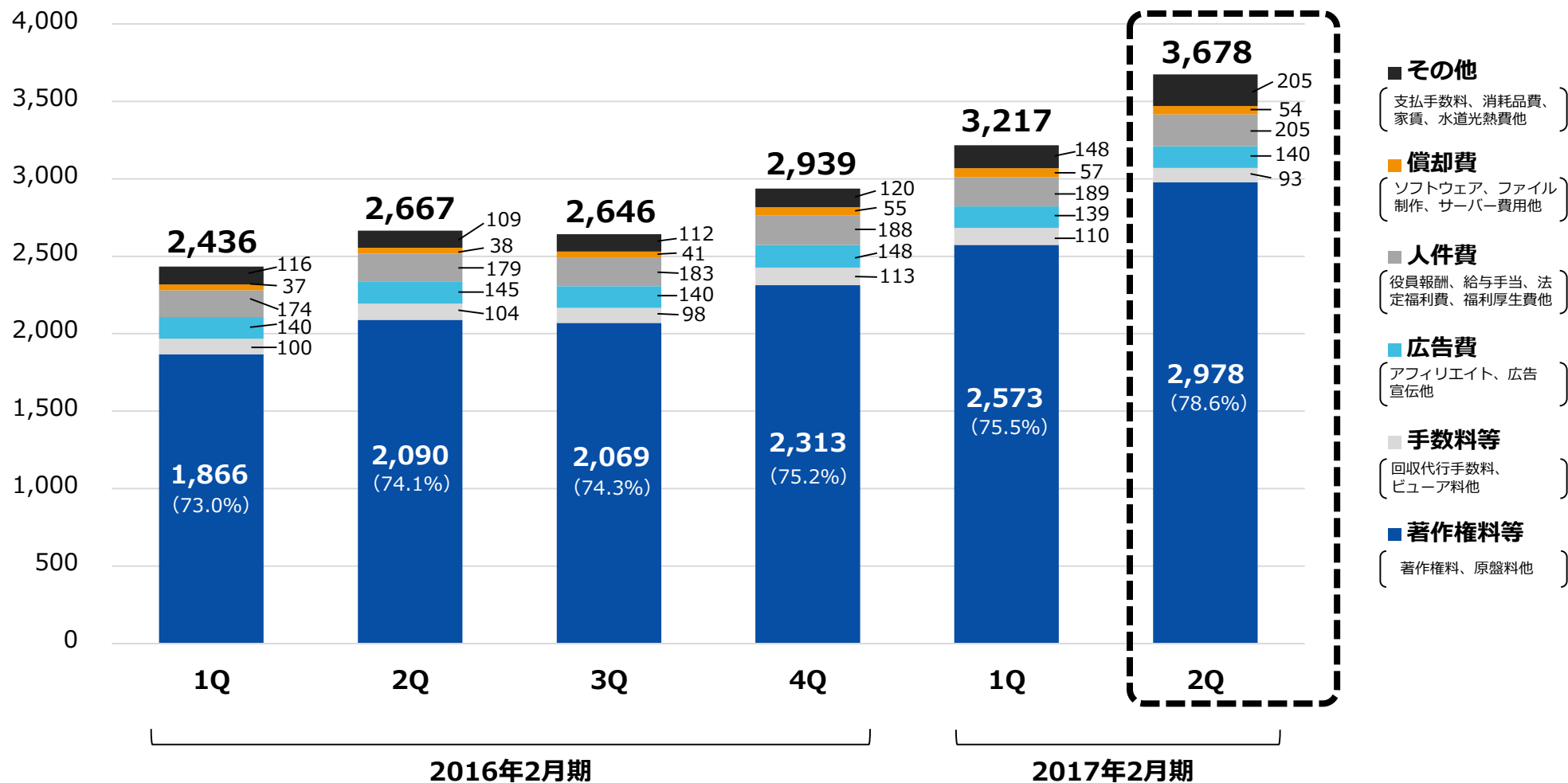
(単位：百万円)

■ その他 ■ ゲーム事業 ■ 音楽・映像事業 ■ 電子書籍

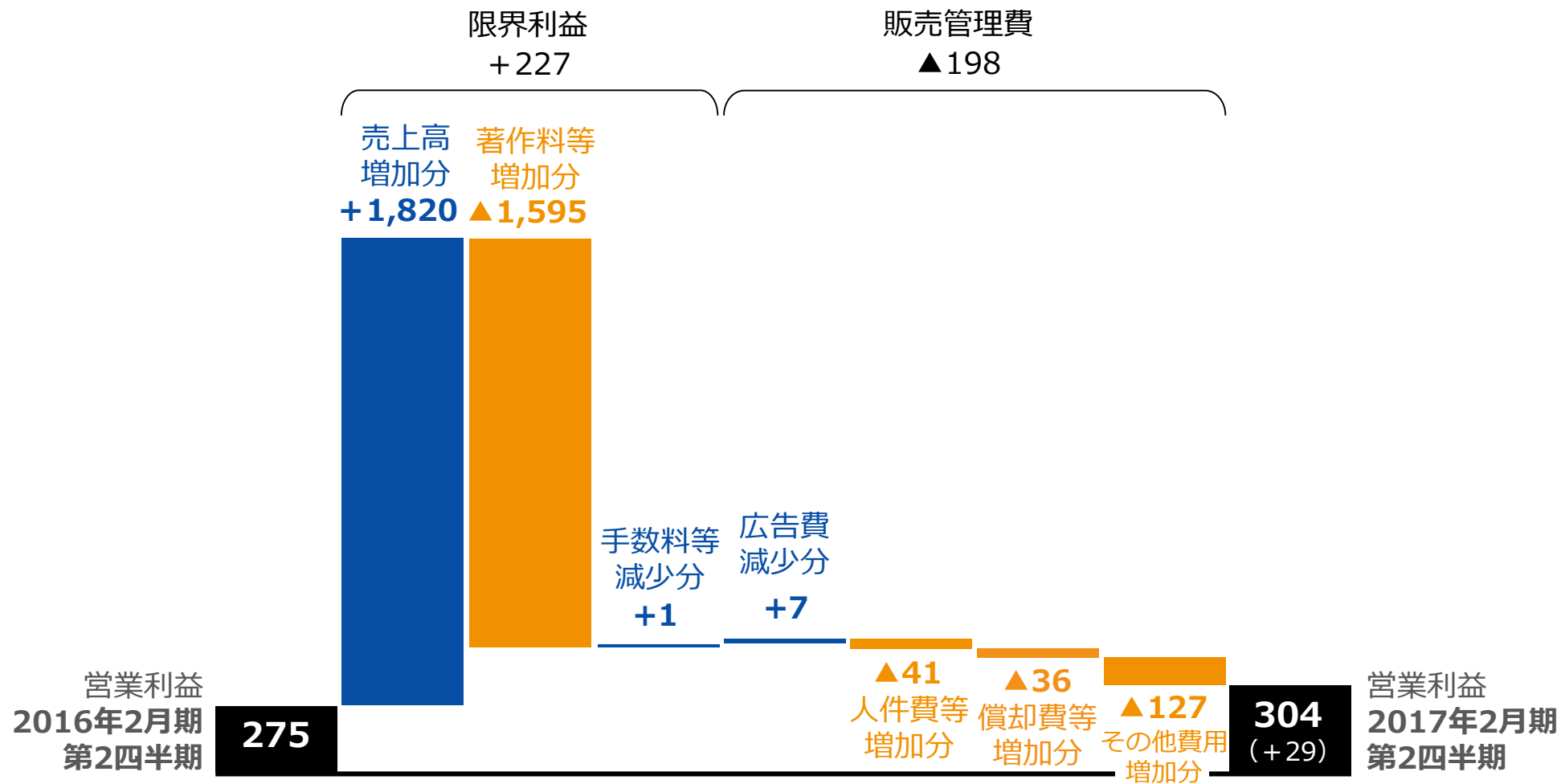


四半期コスト内訳の推移

(単位：百万円)



営業利益の変動要因



(単位：百万円)

2017年2月期 詳細

| (単位：百万円) | 2016年2月期 | | | | | | | | 2017年2月期 | | | |
|-------------------|--------------|-------|--------------|-------|--------------|-------|--------------|-------|--------------|-------|--------------|-------|
| | 1Q | | 2Q | | 3Q | | 4Q | | 1Q | | 2Q | |
| 売上高 | 2,558 | | 2,820 | | 2,786 | | 3,076 | | 3,410 | | 3,790 | |
| 電子書籍事業 | 2,377 | 92.9% | 2,685 | 95.2% | 2,640 | 94.7% | 2,918 | 94.9% | 3,205 | 94.0% | 3,456 | 91.2% |
| 音楽・映像事業 | 105 | 4.1% | 99 | 3.5% | 92 | 3.3% | 87 | 2.9% | 82 | 2.4% | 78 | 2.1% |
| ゲーム事業 | 18 | 0.7% | 11 | 0.4% | 10 | 0.4% | 12 | 0.4% | 9 | 0.3% | 6 | 0.2% |
| その他 | 57 | 2.3% | 24 | 0.9% | 43 | 1.6% | 57 | 1.8% | 112 | 3.3% | 248 | 6.6% |
| 売上原価、販売管理費 | 2,436 | | 2,667 | | 2,646 | | 2,939 | | 3,217 | | 3,678 | |
| 著作料等 | 1,866 | 73.0% | 2,090 | 74.1% | 2,069 | 74.3% | 2,313 | 75.2% | 2,573 | 75.5% | 2,978 | 78.6% |
| 手数料等 | 100 | 3.9% | 104 | 3.7% | 98 | 3.5% | 113 | 3.7% | 110 | 3.2% | 93 | 2.5% |
| 広告宣伝費 | 140 | 5.5% | 145 | 5.2% | 140 | 5.1% | 148 | 4.8% | 139 | 4.1% | 140 | 3.7% |
| 人件費等 | 174 | 6.8% | 179 | 6.3% | 183 | 6.6% | 188 | 6.1% | 189 | 5.6% | 205 | 5.4% |
| 償却費等 | 37 | 1.5% | 38 | 1.4% | 41 | 1.5% | 55 | 1.8% | 57 | 1.7% | 54 | 1.4% |
| その他 | 116 | 4.5% | 109 | 3.9% | 112 | 4.0% | 120 | 3.9% | 148 | 4.3% | 205 | 5.4% |
| 営業利益 | 122 | | 152 | | 140 | | 136 | | 193 | | 111 | |
| 経常利益 | 122 | 4.8% | 153 | 5.4% | 140 | 5.0% | 137 | 4.5% | 193 | 5.7% | 111 | 3.0% |
| 当期純利益 | 75 | 3.0% | 97 | 3.5% | 88 | 3.2% | 72 | 2.4% | 120 | 3.5% | 61 | 1.6% |
| EBITDA | 159 | | 191 | | 181 | | 192 | | 250 | | 166 | |
| | | 6.2% | | 6.8% | | 6.5% | | 6.2% | | 7.3% | | 4.4% |

※ %は売上対比

① ビジネスモデル / ミッション

② 第2四半期 ハイライト

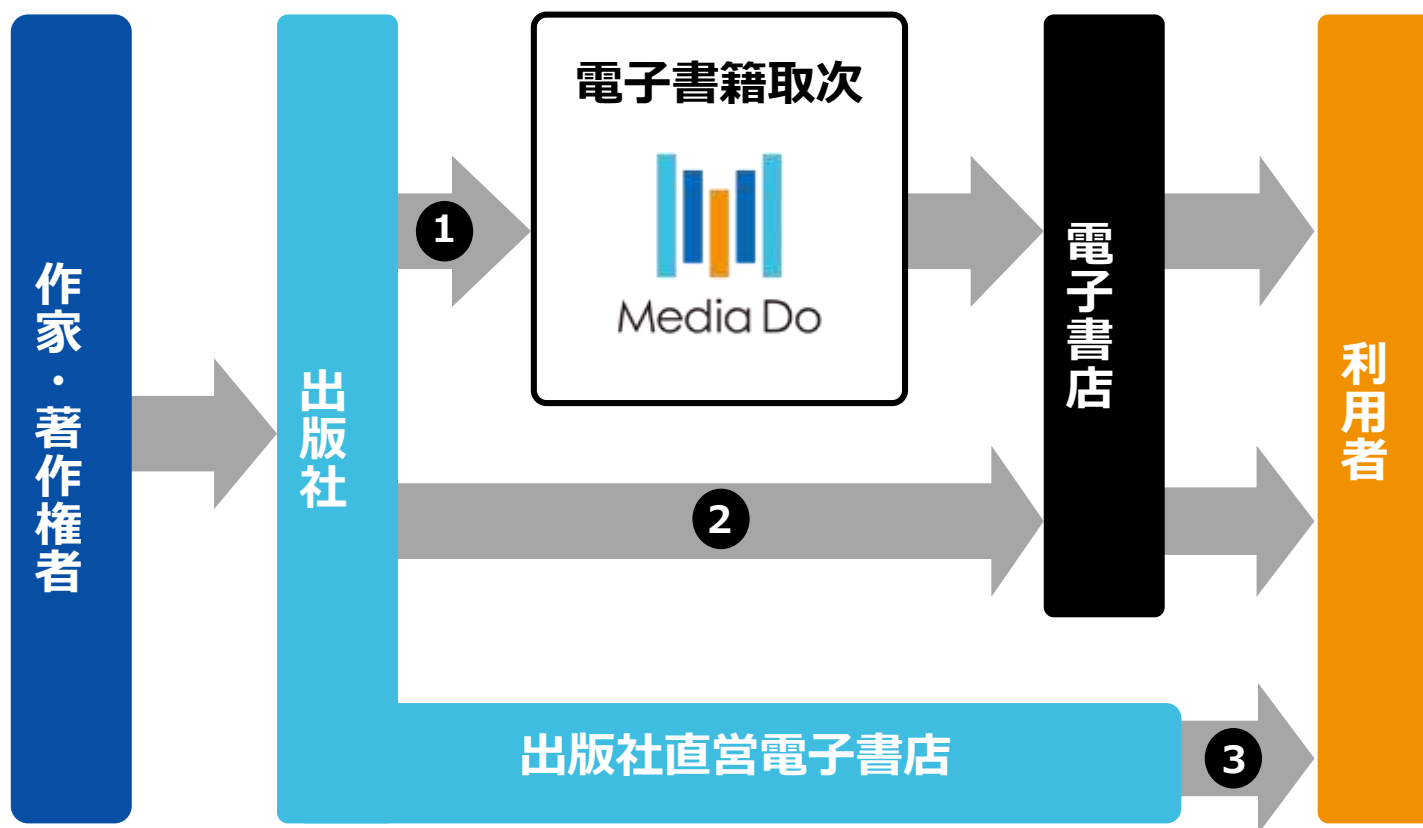
③ 第2四半期 レビュー

④ 電子書籍事業の進捗状況

⑤ 今後の成長戦略

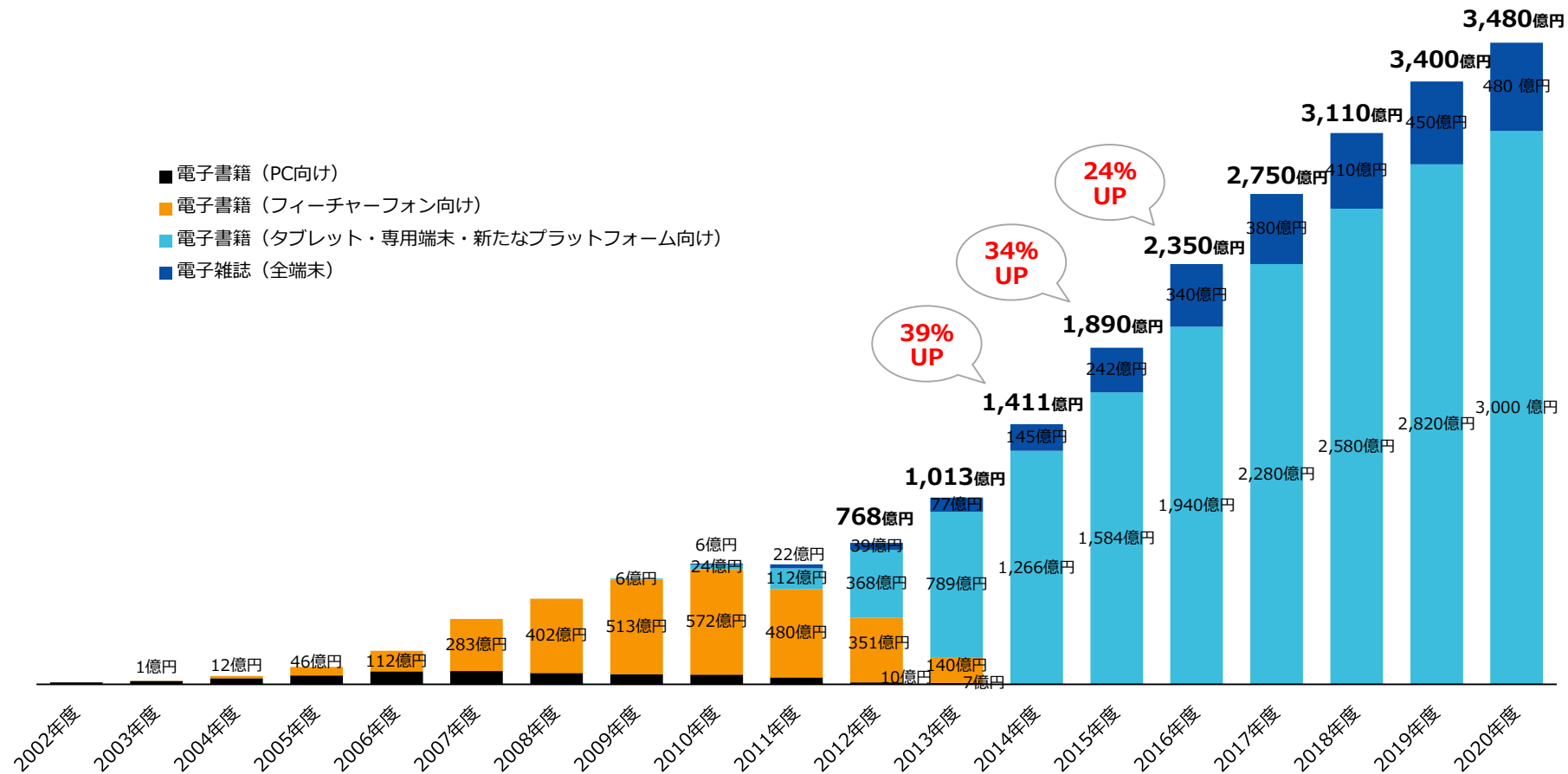
当社の事業ポジション

「電子書籍取次」は、ニーズが高まってきた2006年頃にスタート。市場拡大とともに、出版社の煩雑な業務の担い手として定着。その後、取次の利用が主流となり流通シェアは年々上昇。



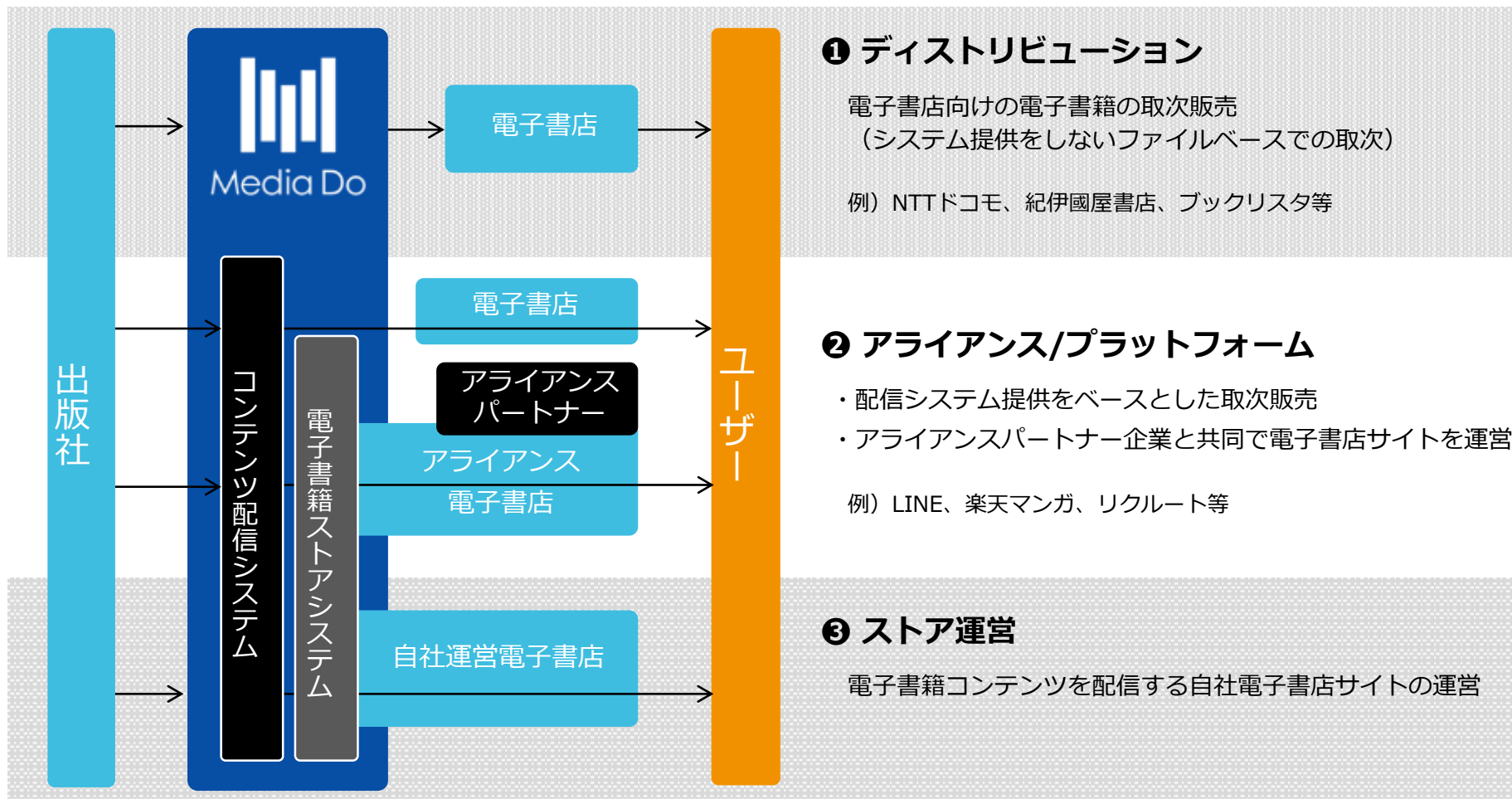
電子出版市場

2015年度の電子書籍市場規模は前年比25%増の1,584億円。2020年度の電子書籍と電子雑誌を合わせた電子出版市場は3,480億円規模へ成長と予測。



出所：インプレス総合研究所「電子書籍ビジネス調査報告書2016」

当社の電子書籍事業におけるサービス形態については、以下の3パターン。



サービス形態別売上推移

| (単位：百万円) | 2016年2月期 | | | | 2017年2月期 | | | |
|------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--|--|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | | |
| 電子書籍事業売上 | 2,377 | 2,685 | 2,640 | 2,918 | 3,205 | 3,456 | | |
| ①ディストリビューション | 959 40.4% | 1,111 41.4% | 1,054 39.9% | 1,139 39.0% | 1,287 40.2% | 1,446 41.8% | | |
| ②アライアンス/プラットフォーム | 1,084 45.6% | 1,227 45.7% | 1,238 46.9% | 1,418 48.6% | 1,549 48.3% | 1,636 47.3% | | |
| ③ストア運営 | 333 14.0% | 346 12.9% | 347 13.1% | 360 12.4% | 368 11.5% | 374 10.8% | | |

※ %は電子書籍事業売上を100とした場合の構成比

① ディストリビューション

- ・ 出版各社の夏期プロモーション企画が因って売上が増加

② アライアンス/プラットフォーム

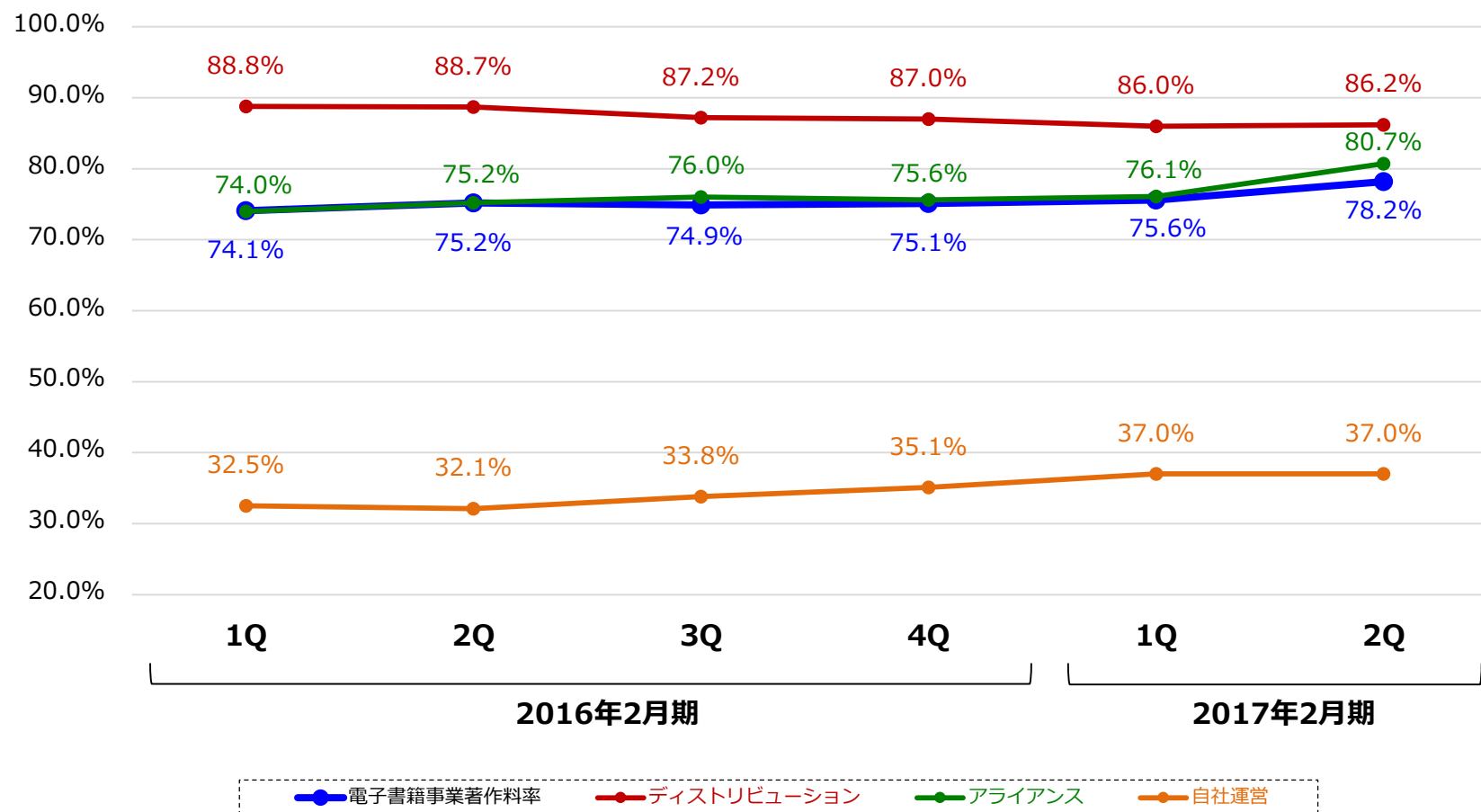
- ・ 2Qは新規アライアンス案件の売上はなかったが、既存書店の売上が伸長

③ ストア運営

- ・ 前四半期からの売上水準を維持

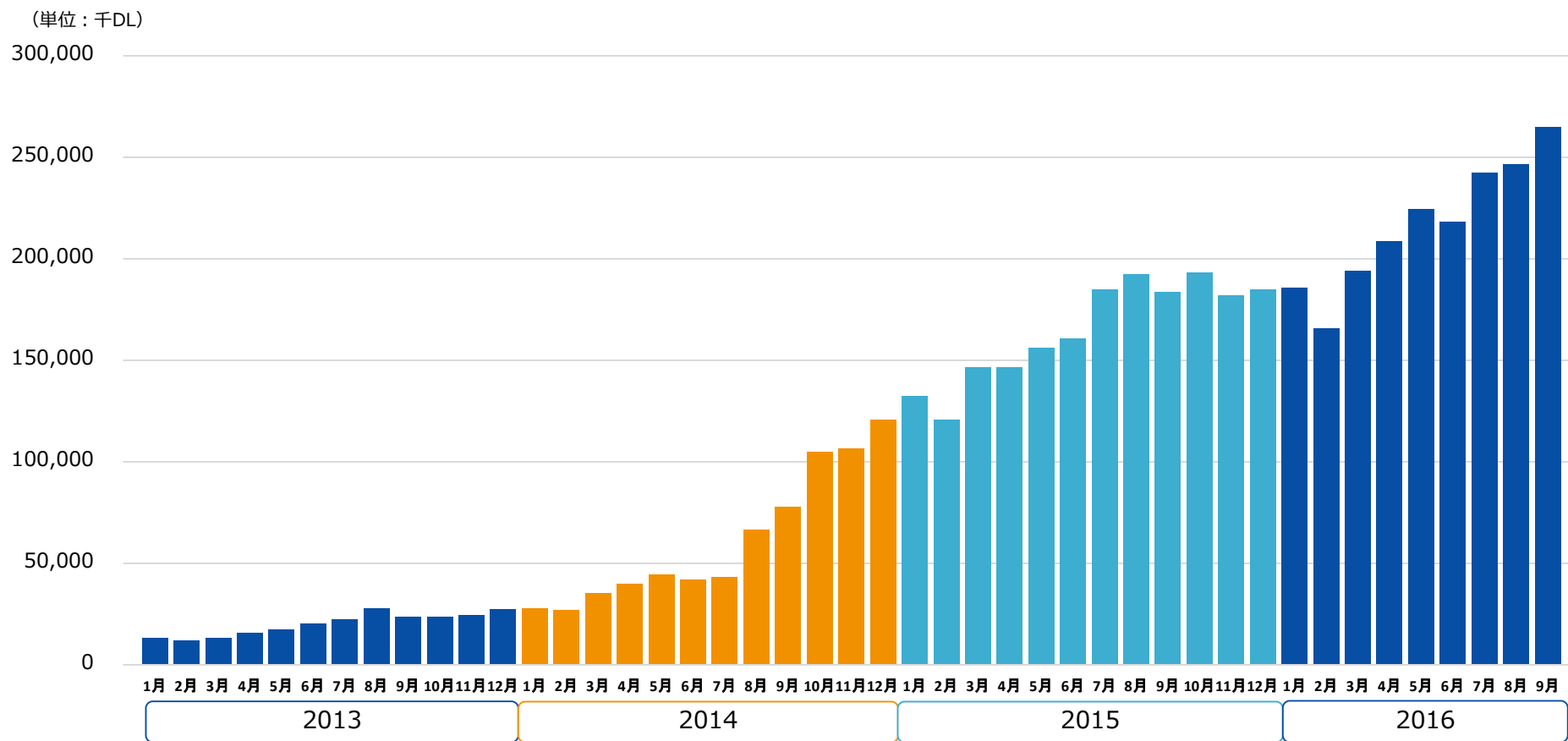
電子書籍著作料率の推移

2Qは新規アライアンス案件（初期構築売上）がなく、アライアンスに係る著作料率が上昇し電子書籍事業著作料率の全体を押し上げた。ディストリビューション、自社運営サイトの著作料は前四半期の水準を維持。



ダウンロード（DL）数の推移

「md-dc」における、電子書籍コンテンツのダウンロード数推移（サンプルDLも含む）。



※ 上記数値は当社配信サーバー「md-dc」におけるDL数値で、同一購入コンテンツの複数の端末へのダウンロードや端末から削除後の再ダウンロード数は含みません。

① ビジネスモデル / ミッション

② 第1四半期 ハイライト

③ 第1四半期 レビュー

④ 電子書籍事業の進捗状況

⑤ 今後の成長戦略

成長戦略の基本方針

メディアドゥの3つの事業拡張の方向性。

①

国内事業拡大

急成長を続ける国内電子書籍市場でのシェア拡大

②

海外流通展開

日本の秀でたコンテンツの世界に向けた流通

③

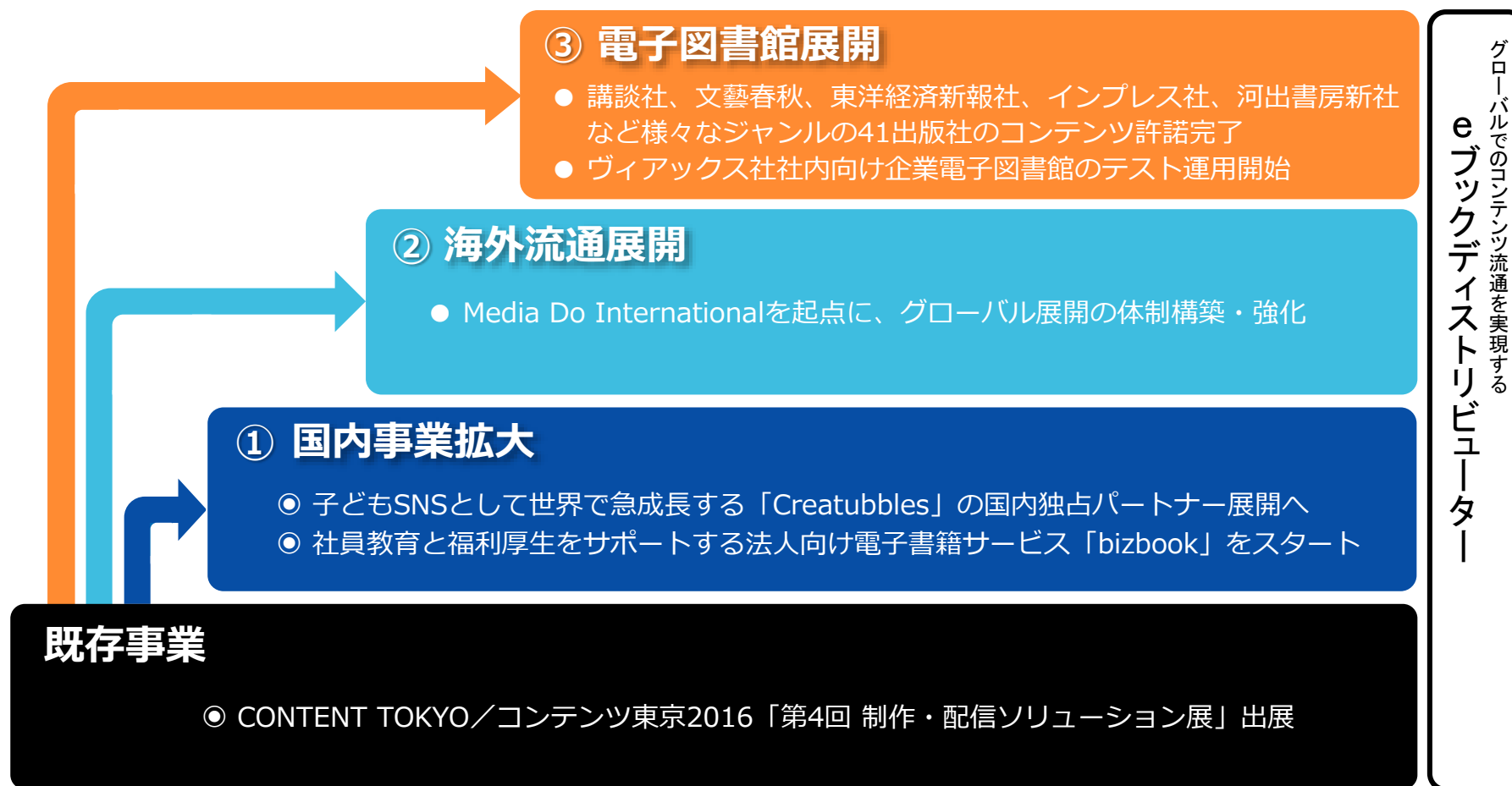
電子図書館展開

貸出による新しい形態でのコンテンツ流通

ひとつでも多くのコンテンツをひとりでも多くの人に届けること

成長シナリオ進捗サマリー

国内事業展開を加速。海外展開、電子図書館展開は着々と推進中。



国内新規事業「bizbook」

「bizbook」は、企業の福利厚生の一環として、社員が読みたい本を割引価格で購入できるようにする自社専用の電子書店を、また企業が社員研修を行う際の電子書籍を割引で購入する電子書店を構築できるサービス。



<利用シーン1：人事担当者など>

新入社員の研修本を電子書籍で一括購入 & 一括配布



<利用シーン2：人事担当者など>

社員が読みたいビジネス書や小説等を個人で購入



<利用シーン3：導入企業の社員>

社員が読みたいビジネス書などの購入を福利厚生としてサポート



「bizbook」の特徴

- ダイヤモンド社、東洋経済新報社、プレジデント社他、20社以上の出版社からビジネス書を中心に2万冊以上の電子書籍をラインナップ
- 全ての電子書籍が割引価格で購入可能
- 専用の本棚・ビューアアプリで快適読書
- 「今読むべき本」推奨コンテンツの選書
- 10分で読める要約コンテンツの提供

「bizbook」の機能

- 読書レポートの提出・管理
- 社員割引設定、及び社員割引の上限予算設定
- 配布書籍の読書状況の確認

国内新規事業「Creatubbles事業」

Creatubbles (クリエイタブルズ) は
「世界中の子どもたちが創ったクリエイティブコンテンツを通して交流できるソーシャルプラットフォーム」



5つのキーワード

- “Child”
- “Global”
- “Creative”
- “Safe”
- “Social”



ソリューションとして

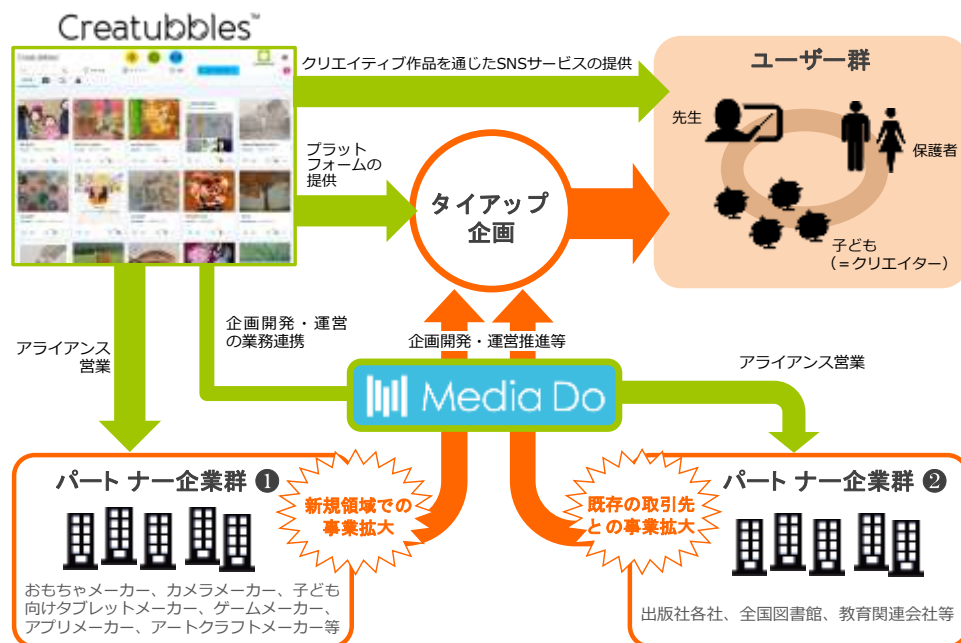
既存のグローバルソーシャルプラットフォーム
では13歳未満の子どもはアカウントを作れない

- 管理体制がないため、子どもたちにとって不適切なコンテンツやコメントが多く、安全性に乏しい
- ソーシャルメディアは学校で利用が禁止されていることが多い
- 世界中の子どもたち（15億人）がグローバルなソーシャル交流から完全に除外されている



Creatubblesの国内総代理

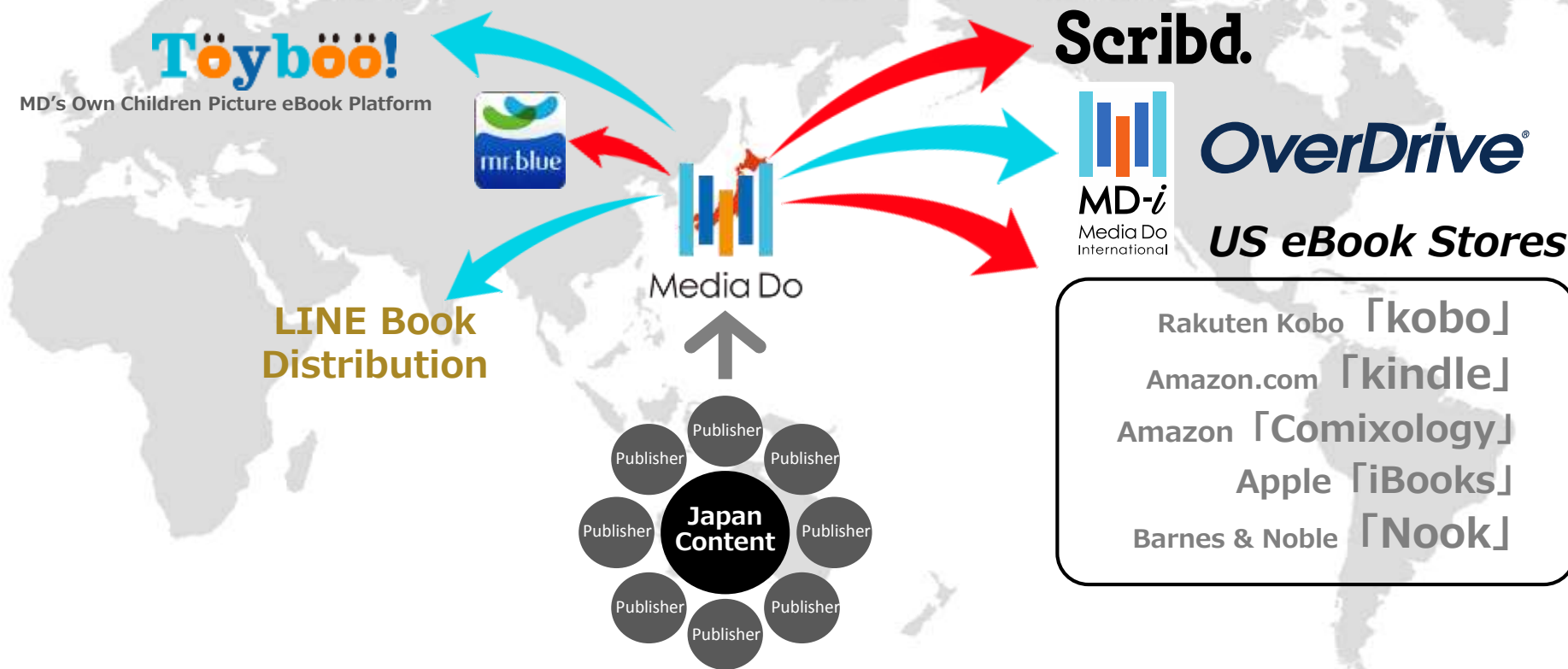
Creatubblesの独占的国内総代理店、世界展開パートナー



Content First & Global Distribution

Media Do Intentionalを核とした世界流通網構築を推進中。

- マンガを中心とした日本コンテンツを軸に、電子書店、電子図書館、電子書籍読み放題サービスを網羅した世界展開へ
- メディアドゥの特長であるシステムプラットフォームとの連携を前提に、マンガとのシナジーをのめる世界のメディア事業者との戦略提携を推進中。ワンストップ・マルチ配信の実現へ



電子図書館展開

講談社、文藝春秋、東洋経済新報社、インプレス社、河出書房新社など様々なジャンルの41出版社からコンテンツ許諾を完了。

<マーケティング活動トピックス>

- ・ 図書館事業・ダイレクトマーケティング事業を展開するヴィアックス社社内向けの企業電子図書館を11月の正式運用にむけたテスト運用をスタート
- ・ 本年4度開催された図書館総合展地域フォーラムへ全出展し、仙台、和歌山、塩尻、大分にて地域の図書館へ電子図書館の説明を実施
- ・ 11月8日～10日に「パシフィコ横浜」にて開催される第18回図書館総合展へ出展。ALA前会長サリー・フェルドマン氏及び、潮来市立図書館館長を招待し講演を企画
- ・ 潮来市立図書館にて閉館10周年企画『未来の図書館 知得！電子図書館を体験してみよう！』で、図書館と共に電子図書館普及活動を実施
- ・ 日本財団主催の「これも学習マンガだ！」プロジェクトに協力し、海外図書館へ同プロジェクトで選出された日本の翻訳マンガ作品を紹介

2016.4.1 スタート
国立大学法人 福井大学
附属図書館



2016.5.31 スタート
香川県まんのう町立図書館



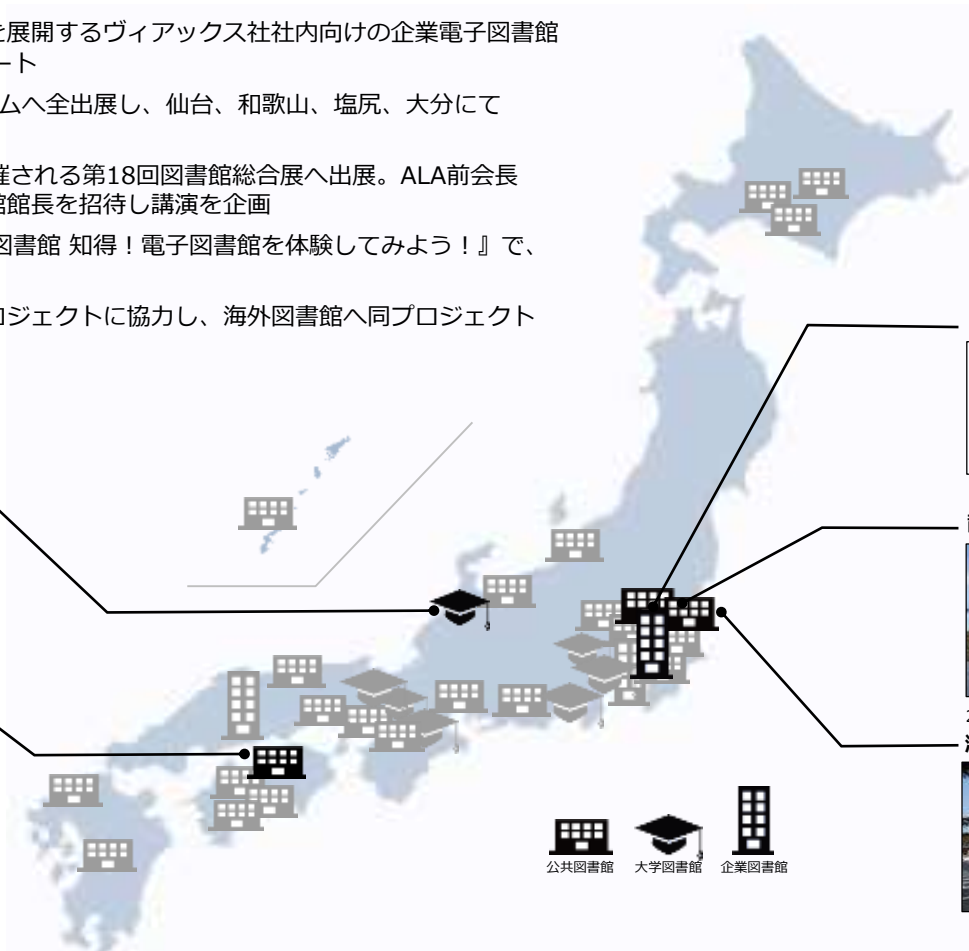
2016.11 スタート (予定)
株式会社ヴィアックス電子図書館



2015.7.14 スタート
龍ヶ崎市立中央図書館



2015.9.1 スタート
潮来市立図書館

公共図書館 大学図書館 企業図書館

| | |
|--|---|
| 商号 | 株式会社メディアドウ (MEDIA DO Co.,LTD.) |
| 設立 | 1999年4月 |
| 資本金 | 900,494,750円 (2016年8月末日現在) |
| 役員構成 | 代表取締役社長 藤田 恭嗣 取締役 溝口 敦 取締役 山本 治 取締役 鈴木 克征 取締役 塩濱 大平 取締役 伊藤 啓 (社外取締役/独立役員) 取締役 伊藤 行雄 (社外取締役/独立役員) 常勤監査役 大和田 和恵 監査役 森藤 利明 (社外監査役/独立役員) 監査役 堀 泰人 監査役 田村 茂 (社外監査役/独立役員) |
| 従業員数 | 152名 (社員 120名、アルバイト等 32名 / 2016年8月末日現在) |
| 本社 | 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル5F (竹橋) |
| 名古屋テクニカルオフィス | 愛知県名古屋市中区丸の内3-5-10 名古屋丸の内平和ビル9F |
| 徳島木頭オフィス | 徳島県那賀郡那賀町木頭和無田字イワツシ5-23 |
| 米国子会社 (Media Do International,Inc.) | 12676 Torrey Bluff Drive Apt.244, San Diego, CA 92130 |

本社 (竹橋パレスサイドビル)



名古屋テクニカルオフィス



徳島木頭オフィス



Media Do International (San Diego)



Media Do

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

また、本資料内には会計監査人の監査を経ていない財務情報も含まれており、その内容の正確性を完全に保証するものではありません。従いまして、本資料に全面的に依拠した投資等の判断を行なうことは控えていただけますようお願いいたします。

将来見通しに関する注意事項と会計監査について